

ロータリーは機会の扉を開く

第2446号 週報

5月19日.2021



高知東ロータリークラブ

本日 5月19日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ

「ローターアクトクラブの活動について」

総合警備保障㈱
高知西ローターアクトクラブ 中村 瑠依 氏

次週 5月26日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
会員スピーチ

「日本版『同一労働同一賃金』について」

高橋 卓弥 会員

第2492回 例会報告／令和3年4月21日 天候 晴

◇ロータリーソング

「それでこそロータリー」

◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。
オリンピックの聖火が高知を駆け抜けました。知り合いも何人か聖火ランナーとしてトーチを持った写真を送ってくれました。

前回の東京オリンピックの聖火リレーと並べて感慨にふけている世代は、恐らく私以上の年齢の方だと思います。オリンピック開催についてはいろんな意見があつて、どれもごもっともというところがありますが、コロナの感染状況が現状より少しでもよくなり、例え無観客であっても開催に至ればいいなという思いでいる1人です。

それにしても、伝え聞く聖火リレーの車列の仕込み具合というのが相当大したものだったらしく、東京オリンピックへ寄せてのいろんな方の思いの強さというのを間接的にも感じ取ったところです。コロナがなければ多分、全国各地お祭り騒ぎじゃなかったかなと思いますが、その辺りにちょっと残念があります。

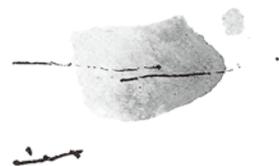
今日は鬼田会員の卓話で、お酒にまつわる話を伺うことになっています。個人的にはしばらく禁酒をしておりましたが、先月辺りから徐々にお酒の量を増やしています。週明けにはちょっと、まあまあ飲んでしまいました。

お酒とロータリーとなると、高知の場合は

大体は宴会と結びつけて親睦の一つのアイテムだろうと思います。交換学生をお世話されてる方はご存知かと思いますが、日本から出かける学生、もちろん海外から日本に来られる学生もですが、それぞれに4Dルールというのがあります。ドラッグ・薬物がいけないというのは学生に限らずということなんです。ドリンク・アルコール類、お酒を飲んではいけません。ドライブ・車やバイクの運転、事故があつてはいけないのでということです。デート・男女のお付き合いをしてはいけません。いずれも学生という立場で駄目だということで、いつか皆さんが学生のお世話をするときに、この4Dルールを頭に置いていただくと、理解が早いかなと思います。

◇幹事報告

- 4月28日、5月5日は休日のため例会は休会です。
- ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所は、4月29日から5月5日まで休みです。
- 本日例会終了後、役員会を行います。



「酒業界の過去・現在・未来」



弊社の創業は1948（昭和23）年、今年で73年。法人化の設立は1969（昭和44）年、私が生まれた年で、52年を迎えます。長年、小売り業として商いをしてきましたが、昨年、酒類の卸免許を取得して、小売をする酒販店などに卸しができる機能が加わりました。

酒類を販売するには免許が必要です。昔、小売免許は距離基準や人口割当によって国が決めていました。また、酒類はほとんどの場合、生産者が流通価格を決定します。生産者が卸売業者にいくらで卸すので、卸売業者は小売店にいくらで販売するように指導してくださいというような価格体系になっていますので、酒屋さんは企業努力をしなくても良かったんです。私は4人兄弟ですが、昔は、店頭でビールと日本酒、あと調味料ぐらいが並んでいたら、子ども4人を育てることができぐらいの商売が成り立つ環境だったと思います。ワインセラーや清酒を冷蔵庫で管理することなど想像もつかなかったし、冷蔵庫に入れたビールには、「冷やし代1本5円」などとプライスカードに書いて販売していました。また、私が幼少だったころ、酒屋さんには立ち飲みスペースがあり、夕方になると地域の人や会社帰りの人が集って安い金額でお酒を飲む。そして、そのお酒が気に入ったら買って帰る。今風にいう「角打ち」といわれるものです。現在、高知県内では角打ちをしている小売店はあまりないのですが、弊社では月に3回ぐらい、飲みにケーションの場を設けています。

酒税は国の大切な税金の一つである関係で、酒屋さんは免許というものに守られてきたのではないかと思います。では、税金がどのぐらいお酒の価格に含まれているかというと、清酒1.8ℓで約280円、ビール350ml缶で約70円、ワインは1本、約60円です。

しかし、だんだんと時代が変化してきて、酒類だけに限らずいろいろな業界で段階的に規制緩和がされ、2006年には申請さえすれば、誰でもお酒を売ることができるという方向に国が大きく舵を切りました。同時に小売をする酒屋さんを町で探すのが困難になってきました。〇〇屋という小売店が日本中から消えていっているのが残念です。これは、免許制度に守られていた関係で、小売店がお客さんを獲得したり、新しい商品を確保するといった努力を行ってこなかったからだと思います。

現在、酒類業界は生産者、卸業者、小売店を含め、アルコールの消費量の減少に伴い、どんどん衰退しています。清酒の製造や消費が少なくなると原料を作る農家の方々、一次産業にまで影響を及ぼしてきます。ましてや、このコロナ禍では高知県の酒造好適米を作っている生産者は大変な状況です。農家の方は2年同じ状態が続くと、米づくりから離れてしまうそうです。一旦、米づくりをやめた田んぼを、もう一度元に戻すためには5～10年かかるといわれています。

清酒の生産量及び消費量のピークは1975年で、全国に3,700蔵（社）があり消費量は16億7,500万ℓ。34年後の2009年には約半分の1,760蔵、消費量は65%減少。43年後の2018年には1,400蔵、生産石数は3分の1になっています。今後の10年で生産量さらに3分の1、消費量は2分の1に減少し、残った生産者は、品質に欠ける蔵元か量産型の蔵元の2極化が進んでいくのではないかと予想しています。この衰退の仕方というのは、ものすごいことだと感じています。

清酒が造られて消費がされているのは、いわゆる米どころといわれる冷涼な地域が多く、その代表が新潟県。ここは年間1人当たり15ℓを消費しています。2番目が秋田で11ℓ、

次が山形で9.8ℓ。高知県は13番目の7.7ℓ。一方、最も消費量の少ないのは鹿児島県で1.2ℓ。このように清酒の消費量は少なくなっていますが、逆に伸びているのが芋や麦の焼酎で、ご存知のとおり、鹿児島は芋焼酎の一大生産地で消費量も日本一です。焼酎は1975年と比較すると生産量は約8倍、消費量も清酒を抜いてしまいました。もう一つ、消費が伸びているのがワインです。1975年には、成人1人当たりが1年間に飲む量はわずか200ccグラス2杯程度だったものが、第6次ワインブームといわれる1997年は3本、2018年には4.2本。フランスやポルトガル、イタリアなどは年間50本ぐらいですので、まだまだ日本は少ないのですが、今後、目を離せない商品群ではないかと思えます。

お酒の消費にもトレンドがあります。2014年にはNHKの朝ドラ効果で、国産の著名なウイスキーは市場でほとんど見かけなくなり、約10年たった今もブームは続いています。2000年には、健康志向ではないかと思えますが、なぜか本格焼酎ブームが起こって、約10年間続きました。しかし、不正流通米などの事件が起こって一挙にブームが終息。もう一つが1997年に起きた第6次ワインブーム。フレンチパラドックスといわれるもので、バターや生クリームなど高カロリーの食品を多く食べていても、赤ワインを飲んでいる地域では、そのほかの地域と比較すると血液の病気で亡くなる人が少ないという観察が出て、日本でも赤ワインに含まれるポリフェノールやアントシアニンが動脈硬化を防ぐとか目にいいということで、リーズナブルなワインが市場からなくなりました。

因みに、日本で売られているワインで国産ワインと表示されているものの殆どは、外国

ワインあるいは外国から輸入したブドウジュースに水と砂糖を入れて造られたものです。日本で栽培したブドウを使って日本で醸造されたものは「日本ワイン」と表示されていますが、ほとんどありません。

お酒は生活スタイル、生活習慣とともに消費傾向が変化します。ですから、酒文化は食文化と切り離せないものだと思います。ひと昔前は、一家の主がテーブルに瓶ビールやお酒の一升瓶を置いて飲みながら、それを家族が囲んで一緒に食事をする団らんがありました。現在では2世代が同じ食卓につくことも、ほとんどなくなったように思いますが、以前のように、家族みんなで食卓を囲む機会を増やしていけば、酒類業界の未来も少しは明るくなるのではないかと感じます。

お酒に対する考え方、感じ方は十人十色です。お酒がなくても何ら支障なく生活できる方がほとんどかと思えます。でも、もしその場にお酒があることにより、その場にいるみんなを結びつける不思議な力を持っているのがお酒じゃないかと思えます。初対面の方でも、ワイン好きが講じて意気投合し、新しいビジネス展開に広がることもあるかと思えます。お酒はいろんな可能性を秘めた飲み物です。

私どもは酒類業界の明るい未来のために、消費を1から2にすることも大切なのですが、やはり0を1にする活動も続けていきたいと思えます。酒は百薬の長と昔から言われていますが、お酒を嗜好品としてよりも必需品として感じていただけるファンを1人でも多くつくることによって、そして、愛を持ってお酒と接することにより、未来へつながらと確信しています。

◇出席率報告

	総数	出席	欠席	マイク アップ	HC出席率	出席率
4月21日	⁻⁴ 53	42	6	1	79.25%	87.76%
4月7日	⁻² 53	42	0	9	79.25%	100%



・竹村克彦 先週、3人目の孫が生まれました。よく寝る穏やかな女の子です。

- ・西森やよい 昨日、聖火リレーを見てきました。一生に一度の機会、感動しました。
- ・山村一正 当神社の職員の奥方が聖火ランナーとして走りました。その後のトーチは7万円、専用ケースは1万円で購入して家宝にするそうです。
- ・鬼田知明 本日は卓話の機会をいただきありがとうございます。
- ・土居祐三 本日、嫁さんの誕生日です。お

祝いありがとうございました。

・寺村みゆき お誕生日のプレゼントありがとうございました。ステキなカラーの鉢植えでした。一足先に春がきました。今日、21日

が誕生日です。

・ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもお世話になり、ありがとうございます。

.....

■高知東RC当週の日程

- 5月25日(火)~27日(木) 情報集会
- 5月26日(水) 役員会
- 6月2日(水) 定例理事会
- 6月16日(水) 委員会活動実績報告
- 6月23日(水) 委員会活動実績報告
理事エレクト会 (例会終了後)
- 6月30日(水) 最終夜間例会
(ザ クラウンパレス)

■例会変更のお知らせ

- 高知西RC 5月21日(金) ロータリー休日
- 高知ロイヤルRC
6月8日(火) 職場例会
- 高知南RC 6月10日(木) 日時計例会
- 高知中央RC 6月17日(木) 夜間例会
- 高知西RC 6月18日(金) 最終夜間例会
- 高知北RC 6月21日(月) 年度末夜間例会
- 高知ロイヤルRC
6月22日(火) 最終夜間例会
- 高知南RC 6月24日(木) 最終夜間例会
- 高知中央RC 6月24日(木) ロータリー休日
- 高知北RC 6月28日(月) ロータリー休日
- 高知RC 6月29日(火) あじさい夜間例会
- 高知ロイヤルRC
6月29日(火) ロータリー休日

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ	チビニコ	合計
先週まで	1,154,351円	15,012円	1,169,363円
4月21日	13,750円	0円	13,750円
今期の累計	1,168,101円	15,012円	1,183,113円

- 会長／竹村克彦 ●幹事／西森やよい ●雑誌会報委員／永野正将・関 淑公
- 例会日／毎週水曜日12:30PM~1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所／高知新聞放送会館6階 〒780-8572 高知市本町3-2-15 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局／hcrc@coffee.ocn.ne.jp 広報IT委員会／info@kochi-east-rc.com